

平成 28 年度第 1 回多治見市子育て支援会議 議事録

○日 時：平成 29 年 3 月 9 日（木）午前 10 時～

○場 所：多治見市役所本庁舎 2 階 大会議室

○出席者：

（委 員）今村光章会長、宮村登美子副会長、小木曾尚子委員、和田美保委員、大野信賢委員、佐藤万里菜委員、矢沢義幸委員、江口あゆみ委員、稲垣信子委員、長谷川邦代委員、堀 和彦委員、山本博子委員、白石真美委員、木俣さと子委員、三田寺正恵委員

（欠 席）中川佳代委員、堀尾憲慈委員、坂崎誠子委員、水野育美委員

（事 務 局）福祉部長 瀬瀬、子ども支援課長 佐久間、福祉部課長（子育て支援担当）水野、子ども支援課保育所幼稚園グループリーダー 山崎、同課子育て支援グループリーダー 三品、同課 遠藤、保健センター母子保健グループリーダー 堀江、教育相談室指導主事 加藤、教育推進課 井出

- 次 第：1. 福祉部長あいさつ
2. 委員・事務局紹介
3. たじみ子ども未来プラン及び子育て支援会議について
4. 会長・副会長選出
5. 議事
（1）教育保育施設・地域型保育事業の確保方策・利用見込について
（2）たじっこクラブ（放課後児童クラブ）の確保方策について
（3）地域子ども・子育て支援事業の実施状況について
（4）子ども未来プラン進捗状況について
6. その他
（1）子どもの貧困に関する実態調査について
（2）事務連絡等

1. あいさつ

【事務局】

これより平成 28 年度第 1 回多治見市子育て支援会議を開催いたします。初めに福祉部長よりご挨拶申し上げます。

【福祉部長】

子育て支援会議は、多治見市の子育て支援事業計画を含めた「子ども未来プラン」全体をしっかりと見て頂き、いろんな方からご意見をいただくため開催しています。特に保育園につきましては、新制度が始まって以降待機児童がなかったのですが、今年度は 0 歳児で年度当初に比べ倍ほどの申し込みがあり、後半になって 0 歳児の待機児童が発生しました。この間、小規模事業所等ができて受け入れをしていただいたのですが、急激な伸びがあったということです。来年度の 4 月 1 日現在では、待機者は解消されたという状態ですが、やはりそういった小さいお子さんを抱えられた保護者の希望が増えてきたというのが現状です。そういった状況を踏まえ、次年度以降の確保方策を私どもに

示していただくためのご意見をいただきたいと思います。また、放課後児童クラブについても、やはり小学校の教室を使って受け入れをしています。私どもの予想を大きく超えるような伸びがあり、ニーズがかなり増えてきていると思っています。この点についてもご意見をいただきたいと思います。「その他」で報告いたしますが、「子どもの貧困」という問題があり、来年度に実態調査を実施します。中学校と小学校の学年を抽出し生活実態について子ども自身と保護者からの回答を得て、多治見市で貧困の問題がどういう形になっているのかを調査し、必要な施策があれば計画の中に入れていきたいと思っています。これについては報告ですが、興味・関心のある方もみえますので、ご意見を頂ければと思います。

2. 交代委員・事務局紹介

すみれ幼稚園園長 堀委員、東濃信用金庫人事課 江口委員紹介、事務局紹介

【事務局】

議事の進行につきまして、会長にお任せします。

【会長】

こんにちは。今日は 12 時までを予定しています。議事に入る前に、今回の会議の公開・非公開の決定について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

この会議につきましては、多治見市情報公開条例第 23 条会議の公開の規定により、非公開となるべき事項がございませんので、公開とさせていただきます。

【会長】

公開とする部分にご異論ございませんか。ご異議が無いようですので公開とします。

3. 議事

【会長】

最初に、会議次第をご覧ください。議事として (1) から (4) まで並んでおり、(1)、(2)、(3) までで半分程度の時間を費やすかと思います。(4)「子ども未来プラン進捗状況」については、前回もそうでしたが、皆さんから多くのご意見・ご質問等出るかと思っています。そこで半分くらいの時間を使いたいと思います。貴重な時間、「お上に任せて文句を垂れる」ではなく、諸関係者が集まって一緒に子育てを考えていこうという場ですので、積極的にご意見を頂ければと思います。

(1) 教育保育施設・地域型保育事業の確保方策・利用見込について(資料1) [事務局説明]

【会長】

ありがとうございました。ひとつは統合、設置主体の変更、小規模保育所の新設、最後に確保方策となります。質問、ご意見等ありましたら、よろしくをお願いします。

【委員】

旧・愛児の園舎は3クラス分の教室しかなかったと思います。ことばの教室をどこかへ移動して5クラス分確保するというのでしょうか。それとも、そのままでしょうか。

【事務局】

ことばの教室は2クラス分ありましたが、それを昭和幼稚園の方へ移転します。昭和幼稚園を改修し園庭を整備して、言葉の教室を入れます。

【委員】

ありがとうございます。

【委員】

2 ページの 3 です。表の一番下に園庭施設ということが書かれてあります。数年前に保育所が色々出来てきたころ、「質の確保」について連携してやっていくという話があったことを記憶しています。私どもも（子育て）広場の中で、まさに0歳児の保育についてお母さんたちが本当に必死になっているということ、毎日見聞きしています。こうやって増えてきているということは「とても素敵だな」「対応してくださっているな」と思います。これは多治見市だけでなく、皆さんもニュース等で見聞きしていらっしゃるかと思いますが、ニーズがあるから色々な建物を造っていかねばならない。しかし、そこで子どもの数年の人生がどのように広がっていくのかは、ものすごく重要なことなので、この連携施設でそのあたりを担保しようとするのは素晴らしいことだと思います。今後、新たに色々な小規模保育事業を行っていく場合、その質の担保や公立保育園との様々な連携も必要ですし、子どもの人生の大事な部分を過ごすための連携について、どこかで報告して頂けるとうれしいです。また「こういったことはどうだろう？」と知恵が出てくるかもしれないので、今後もお知らせして頂けるとありがたいと思います。

【事務局】

小規模保育事業所は、必ず連携園というものを作らなければなりません。多治見市内に現在ある5つの小規模保育所それぞれに、公立保育園で連携園を受けています。未満児保育事業所なので、卒園のあと3歳児・年少になるときに、連携園に優先して入るような段取りを取っていますが、実際、いま指摘いただいた保育内容が非常に大事で、研修や保育士の情報交流という点で連携園の良さを出していきたいと考えています。平成27年度から始まったばかりのため、まだ具体的に何ができているという状況ではありませんが、多治見市では月に1回、私立・公立保育園の公私立園長会を行っており、平成28年10月から小規模保育の園長にも加わっていただき、情報交換・意見交換を行っています。小規模保育事業所には「多治見市が今、こういうことをやっている」ということを分かっていただけの機会になっていると思います。また、多治見市の認可なので、市から監査に出向いています。そこで実際の保育を見せてもらいます。小規模保育事業所としての良さ、家庭的で少人数、保育士と密な関係の中で子どもたちの成長を支えて頂いているということ、いつも感じています。

【委員】

実際聞いた母親からの話です。0歳児で預けるつもりはなかったが、1歳児で育休明けに保育園に入所させようと思ったが定員が一杯になってしまう。0歳児の方が入所できる確率が高いため、本当はもう少し子どもと居たかったが、前倒しをして入所させることにしたとのこと。そういう話から0歳児の入所希望者が増えたということではないかと思いました。

【事務局】

そういった話は聞いており、「早く入れなくちゃ！」と情報を共有されて申し込まれたというイメージはあります。ただ、中には育休延長をしたり、子どもとゆっくり過ごすことを選択される方もいらっしゃるので、それぞれの家庭の状況に応じて、市としては出来るだけ0歳児を受け入れるスタンスです。お子さんと過ごされる時間も大事だと思いますが、家庭でよく話し合っただけだと思います。

【委員】

資料3ページで説明頂きました利用定員についてです。1号、2号を減らして3号を増やしたという話ですが、減らした分について待機児童が出ていないという状況だから3号を増やしたという考えでよろしいでしょうか。

【事務局】

3歳以上児については余剰の状況であり、3歳児以上であれば途中からすぐ入所できる状態となっています。その分の枠を未満児に持ってきたということです。

【会長】

言わずもがなのことだと思いますが、全国的に量の見込みをきちんと立てて計画の策定をされていますが、出生数というのは、やはり予測不可能な部分があります。その地域によっては非常に難しい数字のやりくりをしているので「待機が一人出た、二人出た」ということで、市に対してどうこう言うことではない気もします。また、0歳児については受け皿をたくさん作るかそうでないかについて各市町村で方針を立てているので、待機児童が一人出たからと言って、あんまり大ごとにはしたくない、という気持ちがあります。私の感想です。

【委員】

未満児の定員が増えたということは、保育士の数も当然増えてくると思いますが、その確保は出来ているのでしょうか。

【事務局】

現状は厳しい状況です。本当にあちこちで聞かれています。実は4月1日から公立園で人員を組んでいます。少し足りない状況で、あちこちで宣伝をしています。先日は潜在保育士を引っ張ろうと思い、市内の小中学校の保護者宛てに手紙作り生徒全員に持たせました。3名ほど問い合わせや申し込みがありました。そうやって地道に活動しています。実は3月15日号の「マイタウンとうと」の表紙にも載せようかと思っています。求人は厳しいです。おそらく私立も厳しいと思います。

【委員】

ぜひ給料面で優遇させてください。

【事務局】

臨時職員は、3月から処遇改善ということで経験年数加算をつけて1年に付き2,000円ずつ、概ね10年勤務した保育士が復帰すると月々2万円アップとなっています。また、毎年2,000円の昇給とボーナスを少しつけましたので、ぜひ多治見市に来てもらいたいと思っています。

【会長】

他の議事にも時間を割らなれないといけないので、一旦ここで次の議題に行かせていただきます。言い残したことがあれば、後ほど時間を取りますのでお願いします。

(2) たじっこクラブ（放課後児童クラブ）の確保方策について（資料2）[事務局説明]

【今村会長】

たじっこクラブの方策について、とりあえずは量の確保方策について待機児童がゼロということでした。全体からみて何かご意見・ご感想はありますか。

【委員】

私たちが夏休みに学校へ伺うと、学童クラブの部屋が大人数で可哀そうなんです。待機児童をなくすことも大事ですが、施設・子ども達の居場所というものの確保も同じようにやっていただきたいのが私の願いです。

【会長】

夏休み中の人数が多いので施設を確保して頂けませんか、という願いですが、どうでしょうか。

【教育推進課】

ご意見のとおり、定員を確保するだけでは不十分だと考えています。今は過渡期のため歪みのあるところがあります。平成 28 年度に受託法人の選定でプロポーザルを行い、これまで受託してきた法人以外にも門戸を広げて受け入れ態勢を強化してきています。場所の確保につきましても、1 人当たりの確保面積は決まっていますが、実際に預かっている状況を見ると混みこみの状況もみられるため、極力支援の単位を分けて、要はグループ分けをして、グループごとに支援員がしっかり付いて活動していくような形に、いま移行しています。学校とも連携をしながら、夏休みは比較的場所の確保がしやすいので、預かり方も工夫していきたいと考えています。

【会長】

過渡期でもありますし、中身の充実ということですね。

【委員】

平成 24 年からトータル的にみて増加傾向にあるのはわかりませんが、増加をしている理由があると思います。たじっこクラブには色々な理由で申し込みをされていると思いますが、子どもの中には「〇〇ちゃんが行ってるから、自分も行きたい」という理由もあるだろうし、親が仕事の関係上どうしても預けなければならないという理由もあると思います。増加傾向がどういった理由なのかという調査は行ったことがあるのでしょうか。

【教育推進課】

平成 24 年度までは、ほとんど増えていませんでした。それまでは保護者会で運営をしていましたが、平成 25 年度から条例・規則化して市の事業としました。24 年度までは学童クラブに入ると保護者も役をして自分たちで運営していかなければならなかったのですが、25 年度からは公立保育園と同じように預けて頂いて、保護者は仕事に専念していただけるというような体制を取りましたので、それが一番の理由なのではないかと考えています。

【会長】

ご質問の意図があるやに思います。

【委員】

質問の意図というのは、最後の議題である「子どもの貧困」です。預ける家庭が多ければ、働かなければならない家庭が多いということにつながってくるのではないかと思います。

いまして。預ける家庭が多いということは、それぞれの家庭がとても苦しい状況にあるということではないかなと思いました。

【会長】

貴重なご意見かと思えます。おっしゃる通りだと思います。

【事務局】

そういった要因もあるかと思えます。

【会長】

ただ、良いように考えれば、安心して預けられる場ができたので、保護者も就労等に行って「子どもを預けようか」ということがあるかもしれません。全国的にいろんな調査があるとは思いますが、このシステムが変わったのが最近のことで、なかなかそこまで分析ができないと思うのですが、量が増えたことの肯定面と否定面があるということ、市でまたお考えいただくということによろしいでしょうか。

【委員】

今年、私は仕事を始めたので、たじこクラブの夏休み利用の申し込みをしました。クラブによってすごく金額の差があり、基本料金プラス 6,000 円のところもあれば、基本料金プラス 15,000 円のところもあり、1 万円程度の差があります。事業所が違っていると値段が違うのはわかりますが、内訳が分からないので困っています。申し込みの時に内訳があるといいなと思います。また私の子は発達障害ですが、診断書を付けて申し込むよう言われて申し込んだところ、1 ヶ月経っても連絡が無く、「市役所止め」になっていました。うちは放課後等デイサービス（放課後デイ）も利用していますが、放課後デイに申し込んでも 3 か所に 1 か所は断られてしまう状況だったので、こちらの方に移動しようと思ったのですが、そういう話をしたから断られてしまったのか、いつまで経っても面接の連絡が来ないときがあり、結局キャンセルしてしまいました。発達障害など診断書のある子は、やっぱり戸惑いがあるのですか？

【会長】

二つ、話が出ました。最初の学童保育にかかる経費に関することについては既にいろいろあって、話せば長くなるのですが、非常にご苦勞されてやっている話です。まだまだ出てくる話です。後半の話は、ここですか、あとで個別でされるか、ちょっとお考えいただいて返事を頂ければと思います。

【教育推進課】

前段の話につきましては、法人が集める実費です。おやつ代とか個人に寄与される教材費、それからバス遠足へ行ったりしますので、その会費です。市としては多くの方に利用して頂きたいので、プロポーザルを通じて極力安くして頂きたいという願いをしており、その結果その数字になったということです。内訳につきましては、プロポーザルでもそうでしたし、今度の契約の中でも謳いますが、保護者一人一人にしっかりと内訳を示して、保護者の同意を得た上で徴収してくださいと、法人にはお願いしていきます。

二つ目の件は個別に対応させていただきます。診断書があるからお断りするとか、ストップするということは極力なく、学童クラブと放課後デイで連携をしながら、そのお子さんにとって最も良い環境を提供していくことをしていますので、預かりっぱなしということはありません。個別にお話しさせていただきます。

【会長】

後半の話は個別に、ということ。前半の話は、それこそ PTA 会費でもそうですが、小学校で集める金額が違ったりします。実費については業者によって高い、安いがあるとのことですが、また様子を見守られて、払った分だけのものがちゃんと出来てるかどうか、それぞれの放課後児童クラブでみられてはどうかと思います。

(3) 地域子ども・子育て支援事業の実施状況について（資料3）[事務局説明]

【会長】

子育て支援事業は多岐にわたりますが、ご意見があれば順不同でお願いします。

【委員】

回答は結構ですが、頭の隅に置いておいていただければと思います。「2. 地域子育て支援拠点事業」について、5 ヶ所の拠点のうち笠原に地域子育て支援センターと親子ひろばの2 ヶ所があるのはどうかと思います。ひとつ、他のところへいただければと思います。

【事務局】

今の多治見市では第8次行政改革に取り組んでいまして、笠原地域に地域子育て支援拠点が2つありますので、機能を統合しようかと検討を進めているところです。

【委員】

お話しさせていただきますが、責めているわけではなく、素朴な疑問とと思ってください。「8. 一時預かり事業」について、量の見込みと実績の見方について、その分受け入れ態勢ができていますと読めばよろしいですか。

【事務局】

計画を作った段階では、子どもの人口がどれくらいになるか、利用規模がどのようになるか等、パーセンテージを掛けて量の見込みを出していますが、それに対して受入れしていると思います。

【委員】

先ほどの質問にも関わりますが、予約をして一時預かりをしていただいています、緊急の場合もあります。その時に、公立保育園では現実問題、保育士が足りないため、緊急の預かりがほとんどできていない状態です。本当は急な疾病や親の面倒を見る等のときの一時預かりに対応できていないことをご承知おきください。

【委員】

いま、それをお伺いしたのは、緊急以外のところでも一時預かりをお願いしたいのですが、1か月前に申し込んでも空きが無いと言われてしまうという声を聞くことが多々あったので、どんな状況なのか伺いたかったのです。保育士が不足していることと園の行事等もあると思うので仕方のないことなのかと思います。

【委員】

「7. 一時預かり事業（幼稚園）」についてです。以前に公立幼稚園で小学校の行事に合わせて預かってほしいということをお願いしたようでありがとうございます。ただ、公立幼稚園に預けられる日が本当に少ないと思うのですが、園の行事や会議など、どうしても用事があるって預けられない日以外は預けることができないものですか。いろんな行事の計画や仕事で、「今日は預けることができない日だから無理」という話がよく出

てきます。

【事務局】

幼稚園は行事が無い日は基本的に受け入れています。先生の話との関係や1日に預かる人数の関係もあると思いますが、また個別に相談させてください。

【会長】

それでは次の議題に移ります。次の議題は基本目標「安心して子育てできるまち」(A)から「子育てと子育てにやさしいまち」(F)まで課題があり、1つずつ確認していかなければならないので時間がかかります。説明を受けて頂いて、それからご質問をお願いします。

(4) 子ども未来プラン進捗状況について（資料4～6）[事務局説明]

【会長】

これから基本方針の基本目標 A～F の順に皆さまにご意見を頂き、全体として計画通りに進んでいるかどうかということの評価して頂きます。「安心して子育てできるまち」(A)から順番に行きます。

【事務局】

子育て支援イベント「たじみ子育て楽市楽座」を毎年開催していますが、委託先の NPO 法人ママズ・カフェの山本さんに、来年度の展望などお話しただけるとありがたいのですが。

【委員】

今年度はちょうど 10 回目となった。来場者は毎年 5,000 人くらい来て頂いていますが、今年は 4,500 人でした。減ったというわけではなくて、もう入れない状態です。課題が二つあります。一番は駐車場の問題です。来場者の滞在時間がすごく長くなって、駐車場が空かないイベントになってしまい、入るのに 1 時間以上かかる状況です。来年度は、来場者が循環するような仕組み、例えばもう少し休憩スペースをあえて減らすなどでたくさん人を入れることと、駐車場の確保をまた考えて、より多くの人に来て頂けるような仕掛けをしていきたいと考えています。

【会長】

それでは、時間も経ちましたし、全体としては計画通り進んでいるという評価でよろしいでしょうか。

(異議なし)

【会長】

「計画どおり進んでいる」ということで確認させて頂きます。次に基本目標「ゆとりをもって子育てできるまち」(B)です。2～3 ページにわたるところに B の事業がありますが、こちらについてもご意見があれば。

【委員】

3 ページの「老朽化した発達支援センターの整備方針を策定します」についてです。発達支援センターは現在、とても市の端にあって大変通いにくいということを、親子ひろばに来る母親から聞きます。未就学児が対象なので、下に小さい赤ちゃんがいる母親

が多いです。小さなきょうだいを連れて遠くからセンターの通っているところで、施設移転については通いやすい地域を考えているということで安心しました。また「なかよし」「ひまわり」について待機というか、入りたくてもすぐに日程が決まらないという話を、親子ひろばの利用者の母親から聞くことがあります。統合されて規模が大きなものになると期待をしています。先ほど言いましたように未就学児対象なので、下に小さい子どもが居ることが十分考えられます。実際には下の子を預けてきてもらえるとありがたいということで、実家に預けて通っているという状況を聞くとしんどいなと思います。楽しく保育園・幼稚園で集団生活を始めるために、今の状況を頑張っていこうと励ましてがんばっているような状況があるので、下の子の託児の対応を取っていただけるとありがたいと思います。人数の規模など分かれば伺いたいと思いました。

【事務局】

新しい施設についてはどうなるか、まだ全く決まっていない状態ですが、統合しますので、両方の利用定員が確保できるような状態にしていきたいと思っています。託児については、施設の指定管理者と相談しながら、良い方向を考えていきたいと思っています。

【会長】

今の件については、計画通り進んでいるということでよろしいですか。

【委員】

私は発達支援センター「ひまわり」で、たまに託児に入っていました。実際託児が足りないという実感はありません。私が「今日託児に入ります」というと「今日はお休みになったから、結構です」ということが何回もありました。どのように足りないのかという疑問と、実際、発達支援センター「なかよし」と「ひまわり」は、重度の方と軽度・グレーゾーンの方に分けているので、統合するという利点はなんでしょうか。

【事務局】

託児の件は答えることができませんが、施設統合のメリットとしては、距離的に大変遠い笠原ですので、距離的なメリットがあります。建物が二つあると経費も掛かってしまいます。

【委員】

私は保育士の資格はなく、ボランティアとして託児に入っていたので、ボランティアの活用も考えて頂ければいいと思います。

【委員】

続けて同じことですが、「なかよし」「ひまわり」の定員を設けずにどんどん受け入れる状況というのを聞いています。親の会の方と知り合ったのですが、「十分な質の確保が出来ていない」「回数が2週間に1回しかない」「グループ療育や個別療育を減らされた」という方向に変わっていったようです。次に建てる時は、人数はもちろんですが質の確保もお願いします。

【会長】

その点は次の計画の時に立てて頂くということで、基本目標 B については計画通り進んでいるということでよろしいでしょうか。

【委員】

待機児童について、保育士不足で市が苦勞して人を集めたり給与体系を変えたりしている中で、反面疑問に思うのが、待機児童を無くすために募集の人数を減らすというこ

とを考えた方がいいのではないのでしょうか。身もフタもないかもしれないですが、そう思っています。世の中、ファミレスも 24 時間営業がやれないとか、宅配の時間を止めたりしている中で、本当に保育士が現場で大変な苦勞をされているのを見えます。募集の定員を見越し続けるのもどうかと思う意見です。

【会長】

本当はそういうところをゆっくり話したいですけれども、なかなか言葉では、と思います。基本目標 B は計画通り進んでいるということで確認させていただきます。次に資料 3~4 ページ、基本目標「子どもが穏やかに成長できるまち」(C) についてご意見をお願いします。

【委員】

5 ページの「小中学校で音楽祭の実施、土と版画展の実施」で、その取り組み方について子どもがこぼしていました。合唱祭に力を入れるべきところ、音楽の先生がいなかったり。先生方は忙しいかと思いますが「とりあえず、やればいい」という感じなのを、子どもから聞きました。先生方にお伝えすべきかと思いましたが、先生と交流する機会も減って、なかなか言う機会がないためすみません。

【会長】

ありがとうございました。担当課が教育研究所なので、また終わってから個別に。

【教育相談室】

いただいた話については持ち帰らせていただき、教育研究所に伝えます。ただ、関わる場所が分かりかねておりますが、ここに出ている合唱祭は多治見市の合唱祭です。小学校 5 年生と中学校 2 年生の子どもが一堂に会して合唱の交流をするものです。それとは違う学校内の話かと受け止めさせていただきましたが、それでよろしかったでしょうか。

【委員】

そこに繋がっていくものかと思いますが、学校内のことでもあります。申し訳なかったです。

【会長】

いろんな意見があるのは良いことですので、終わってからお話ししてください。計画についてご意見ありますでしょうか。計画通りに進んでいるという評価で確認させていただきます。では、基本目標「子どもが自主的に活動できるまち」(D) についてご意見等をお願いします。

【委員】

基本目標 D を含む基本方針「子どもが豊かに育つまち」ということで発言します。育児について色々な人と話をしていると「多治見市は公園や遊具が無い」とよく言われます。「子どもは外に出すべき」という方は沢山いらっしゃって、「多治見は箱物はあるし児童館もあるけれど、外で遊ぶところが無い」、「子どもだけで遊びに行けるところが無い」、「放課後に行くところがない」とよく出てきます。私の住まいは根本地区ですが、高根山のアスレチックが無くなり、そのまま何も無い状態です。どんどん公園から遊具は消えていくし、大きな公園の砂場で遊ぼうとしても猫のフンだらけです。なかなか公園に足が向かなくなってきました。

【会長】

公園・緑地について、行政がお答えできる範囲でどうですか。

【事務局】

公園は所管が全く違いますが、聞くところによると遊具を増やしたところもあるそうです。ただ、維持管理の面で減らしているのは事実だろうと思います。要望として建設・都市計画部に伝えておきます。

【委員】

「子どもは外で育つべき」という考え方が育つといいと思います。よろしく願います。

【委員】

6 ページの「児童館の整備方針の策定と整備をします」ですが、坂上児童館が坂上町の公民館に入るとのことですか。

【事務局】

坂上児童館を養正公民館か子ども情報センターに、本土児童館を精華公民館に機能統合しようと検討しています。

【会長】

D につきましても、計画通りに進んでいるということで確認させていただきます。では、基本目標「次の世代につなげるまち」(E) についてご意見等をお願いします。

【委員】

7 ページの「保育園、幼稚園、小学校、中学校において高齢者指導者の参加を進めます」について、やっけて頂いているのはとても有難いことだと思います。もし、可能であれば頭の中に入れて頂いてご検討いただければと思うことがひとつございます。多治見市にもマンションが増えてきて、ひな人形を飾ったり、こいのぼりを出したりするのが難しい家庭が増えてきていると思います。昔から使ってこられた方で、今は飾る場所がないひな人形が眠っていると思われまので、可能であれば市で集めて頂いて飾って、自宅で飾れない子どもたちに見に来てもらうことを、供養もかねてやれば、子どもたちにとってもいいのかなと思います。

【会長】

ご要望ということで承っておけばよろしいでしょうか。

【委員】

遠い昔に土岐川にこいのぼりをいっぱい上げて、みんなで見に来た覚えがありますが、いつの間にかなくなってしまいました。一応、やったことはあります。ひな人形は松正とかに綺麗に飾ってあるので、全部が全部無くなったわけではないと思います。

【委員】

昔から知っている方は情報があると思いますが、近年引っ越しされてきた方や若いお父さん・お母さんが増えてきたので、やはり多治見の昔からの状況を知らない方が多いです。そういった情報があるのであれば、少しでも周知して流して頂けるといいかなと思います。

【委員】

こいのぼりは、どうして無くなったのかは分かりません。

【会長】

皆さんでそういうことをやりましょう、という運動ですね。「昔無くなってしまった

こいのぼりをまたやろう」ということで、皆さん、そういうお気持ちがあるということ
で。

それでは基本目標 E については、計画通りに進んでいるということで確認させてい
ただきます。それでは、基本目標「子育てと子育てにやさしいまち」(F) についてご
意見はございますか。

【委員】

8 ページの『子ども 110 番の家』を子どもと保護者に周知します」の件です。以前
にもお話しさせていただきましたが、「子ども 110 番の家」の看板が関係機関より色々
出ていて、統一されていません。我々保護者としても、子どもたちに「何かあったら、
この看板のところに」と伝えてはいますが、看板の種類が多すぎて伝えるのに支障があ
ります。先日も市長に要望を出させていただきましたが、関係機関と話をして頂き、統
一の看板を作って頂けたら、子どもたちも分かりやすく、我々も説明しやすいかと思
います。

【会長】

教育相談室へのお願いになりますが、予算のこともありますし、すぐに対応できるか
わかりませんが。

【教育相談室】

昨年 4 月から勤めていますが、統一の看板として白いパネルの「子ども 110 番の
家」という L 字型のプラスチック製のものを、各学校からニーズに合わせてお配り
していますので、それだけだと思っておりました。春、この時期になりますが、集団下
校の途中で挨拶しながら「いつも見守りありがとうございます」ということでお声掛け
しながら、場所を確認しているところです。

【会長】

いろんな意見が出て、この場で交流できるのは良いことかと思しますので、またご検
討ください。

それでは、基本目標 F も「計画通り進んでいる」ということで確認させていただ
きます。それでは、A~F すべて「計画通り進んでいる」という評価でご確認いただき
ました。また、ご意見も何回か頂戴しましたが、公表する評価書にまとめる際に、「ここ
は付け加えておきたい」ということで記載しておくべきご意見はありますか。評
価書というのは「計画通り進んでいる」というのが最上の評価です。「ここはどうし
ても」というご意見があればいかがでしょうか。

(特に意見なし)

【会長】

よろしいですか。それでは、全体として「計画通り進んでいる」という評価でまと
めることにいたします。先ほどから議題 1 から 4 まで議論をしてご意見を頂きました。
これだけは「ぜひ、いま伝えたい」ということはありますか。

【委員】

8 ページの「スクールガードリーダーの配置」についてです。うちの根本地域だと高
齢化が進んで人数的にも減っているのですが、市全体では 5 年後、10 年後のスクール

ガードリーダーは大丈夫ですか。

【事務局】

高齢化が進んでいるかどうかについては難しいのでお答えしかねます。ここにあるスクールガードリーダーは元・警察官で、多治見市として3名お願いしており、多治見を3地区に分けて回っています。退職間もない方なので、まだまだ支障なく活動できると思っています。地域の見守り隊として自主的に組織されている方とは違い、元警察官の3名です。

【委員】

8 ページの「子どもの事件等へ関係機関と連携し対応します」についてです。いつも不審者対策をしていただき大変感謝しています。学校ごとに、例えば不審者があった場合のメールの場合、その後に「解決しました」とか「未だ捜査中です」など、第二弾・第三弾の情報があまり出ないような気がします。そういったことが可能であればメールで流していただけると大変助かります。

【会長】

これもご意見として伺っておくということでもよろしいでしょうか。では議事は以上となります。

3. その他

(1) 子どもの貧困に関する実態調査について（報告）〔事務局説明〕

【会長】

まだ先のことですので、この場でどうしてもということであれば、個別に問い合わせるようお願いいたします。それでは、事務局から事務連絡等お願いいたします。

【事務局】

本日、子ども未来プランの進捗状況について評価・ご意見を頂いたことについて取りまとめてホームページで公開します。内容につきましては、公開前に会長と副会長にご確認を頂くということでご了承をいただきます。今後の予定です。基本的に年に一回、この時期に、一年の評価をしていただくという会ですが、来年度は国から計画の見直しについての通知があり、これは中間年ということで後半の見直しが必要であれば取り組みこととなります。場合によりましては、3月以外に余分に1回開催する可能性もあります。そういったこともお含みおきいただき、来年度もよろしく願いいたします。

【会長】

皆様から何かありますでしょうか。この子育て支援会議、いろんなご意見を頂いて、担当者と顔を合わせてじっくりと話ができ、そのことで一緒に子育てについて考えることができる、とてもいい機会だと思います。また、せっかく委員になられたので、アンテナを張っていただいて「あんなことがあった」ということで、また次にお目にかかれればと思います。それでは、以上をもちまして、多治見市子育て支援会議を閉会します。

以上